

平成24年行政事業レビューシート

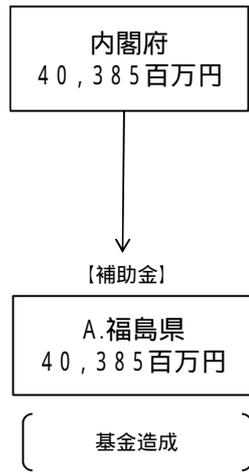
(内閣府)

事業名	東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故による被害に係る応急の対策に関する事業に必要な経費		担当部局庁	政策統括官(防災)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：平成23年度		担当課室	原子力被災者生活支援担当室		植田 拓郎		
会計区分	一般会計		施策名	30 防災行政の総合的推進(防災基本計画)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法第4条第3項第7の2号 平成二十三年原子力事故による被害に係る緊急措置に関する法律第14条第1項		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	福島県の置かれた人口流出や県全体のブランド価値の低下などの厳しい状況に緊急に対応する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	福島県の置かれた人口流出や県全体のブランド価値の低下などの厳しい状況に対応するため、農林水産物、食品等の検査体制の整備、子どもの屋外活動の支援、地域の“ふくしま”ブランド価値回復に向けた活動支援等を行う「福島県原子力被害応急対策基金」の造成に要する経費を補助する。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	-	
		補正予算	-	-	40,385	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	40,385	-	-	
	執行額	-	-	40,385	-	-		
執行率(%)	-	-	100%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	福島県の要望により基金を創設し、複数年度実施するものなので指標を示せない。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	福島県の要望により基金を創設し、複数年度実施するものなので指標を示せない。		活動実績 (当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、福島県からの要望を踏まえたものであり、福島県の置かれた人口流出や県全体のブランド価値の低下などの厳しい状況に迅速に対応するために行ったものである。 また、本事業は、地域の実情に応じて実施することが適当であることから、地方自治体の取組を補助するものとした。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	基金事業として県が使用することにより、各自治体が把握している地域のきめ細かなニーズに柔軟に対応することが可能になるものと考えている。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	今後の関係施策の推進に資するよう、事業の成果について適切に検証すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	平成25年度要求なし		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
本事業は、平成23年度予備費			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-

平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)



A.福島県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
基金造成	・農林水産物、食品等の安全・安心の復元 ・明るく元気な“ふくしま”の復元 ・地域における“ふくしま”ブランドの回復活動支援	40,385			
計		40,385	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福島県	福島県の置かれた人口流出や県全体のブランド価値の低下などの厳しい状況に対応するため、農林水産物、食品等の検査体制の整備、子どもの屋外活動の支援、地域の“ふくしま”ブランド価値回復に向けた活動支援等を行う「福島県原子力被害応急対策基金」の造成に要する経費を補助する。	40,385	-	-